

〔国内に発生したプラムポックスウイルスの効果的な撲滅と再侵入阻止技術の開発（実用技術開発事業）〕

PPV 発生園地周辺植物におけるアブラムシ類の発生状況

加藤綾奈・菅原優司・小野 剛・小谷野伸二・野地喜徳*
(生産環境科・*農振事)

【要 約】主に PPV 発生園地周辺の 21 科 47 種の植物に、46 種のアブラムシ類の寄生を確認した。新たに分布を確認した 27 種のうち、ホップイボ、マメクロおよびモモコフキアブラムシは PPV 媒介能を有し、都内で PPV 媒介に関与する可能性がある種は 8 種となった。

【目 的】

PPV の媒介には、ウメを本来の寄主としないアブラムシ類が関与している可能性がある。そこで、PPV 発生園地周辺を中心とし、その他都内の広範な地域において植物に寄生しているアブラムシ類の種および寄生状況を調査し、PPV の拡散防止対策および有効な防除体系確立のための基礎的知見とする。

【方 法】

2013 年 4 月～11 月、東京都青梅市の PPV 発生ウメ圃場周辺を中心とした 6 ヶ所、その他に、江戸川区、府中市、八王子市、立川市（東京都農林総合研究センター内）、東久留米市の生産圃場にて野菜類、花き類、樹木類および野生植物に寄生するアブラムシ類の種類、発生程度、発生時期、発生範囲を調査した。

【成果の概要】

1. 本調査においては、21 科 47 種の植物に 46 種のアブラムシ類の寄生が認められ、昨年度確認した 31 種に加えて、新たに 27 種の分布が明らかとなった。このうち、エンドウヒゲナガアブラムシ、クリオオアブラムシ、コンドウヒゲナガアブラムシ、ソラマメヒゲナガアブラムシ、モモアカアブラムシ、ユキヤナギアブラムシおよびワタアブラムシの 7 種は発生範囲が広範であり、かつ宿主上での発生量も多かった。
2. 今回確認したアブラムシ種の中で、海外で PPV 媒介能を有することが報告されているアブラムシ類として、新たにホップイボアブラムシ、マメクロアブラムシおよびモモコフキアブラムシの発生が判明し、特にモモコフキアブラムシはモモ樹上での発生量が多かった。これらの 3 種を加えて、都内で発生を確認したアブラムシ類のうち、PPV 媒介能を有するアブラムシ種は、昨年度確認した 5 種とあわせて 8 種類となった。
3. まとめ：以上の結果から、昨年に引き続き、PPV 発生圃場周辺および都内生産地には多様なアブラムシ種が広範囲に分布していることが判明した。特に、PPV 媒介能を有する種が新たに 3 種確認された点は注意を要する。なお、現在法政大学と共同で、発生が確認されたアブラムシ種については、発生量、発生範囲に関わらず、網羅的に PPV 媒介能力についての調査を実施している。

表1 PPV 発生園地周辺および都内の植物で発生が確認されたアブラムシ類

アブラムシ種名	寄主植物名(科名)	発生時期	発生量 ^a	発生範囲 ^b
アザミクロヒゲナガアブラムシ ^d	キツネアザミ(キク科)	5月	+++	+
イバラヒゲナガアブラムシ ^d	バラ(バラ科)	5月	++	++
ウメコブアブラムシ ^d	ウメ(バラ科)	4~6月	+++	++
エノキワタアブラムシ	エノキ(ニレ科)	10月	++	+
エンドウヒゲナガアブラムシ	カラスノエンドウ(マメ科)	4~5月	+++	+++
オカボアアブラムシ ^d	ウメ(バラ科)	4~6月	+++	+
キクヒメヒゲナガアブラムシ	キク(キク科)	9~10月	++	++
ギシギシアブラムシ	ギシギシ(タデ科)	4月	++	+
キスゲフクレアブラムシ ^d	シナカンノウ(ユリ科)	6月	++	+
クリオオアブラムシ ^d	クリ(ブナ科) シモツケ(バラ科)	5月	+++ +++	+++ +
ケヤキヒゲマダラアブラムシ	ケヤキ(ニレ科)	6月	++	++
コンドウヒゲナガアブラムシ ^d	カラスノエンドウ(マメ科) クリムソクローバー(マメ科)	4~5月	+++ +++	+++ +++
サクラコブアブラムシ	サクラ(バラ科)	5月	+	+
サンザシハマキワタムシ ^d	リンゴ属・ドメステイカ(バラ科)	5月	+	+
ジャガイモヒゲナガアブラムシ	ジャガイモ(ナス科)	6月	+	+
セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ ^d	セイタカアワダチソウ(キク科)	5月	++	+
ソラマメヒゲナガアブラムシ	カラスノエンドウ(マメ科)	4~5月	+++	+++
ダイコンアブラムシ ^d	ナズナ(アブラナ科)	4~6月	+++	+
タデクギケアブラムシ ^d	グミ(グミ科)	5月	++	+
ニセダイコンアブラムシ	ハクサイ(アブラナ科)	11月	+++	+
ニタイケアブラムシの一種 ^d	イロハモミジ(カエデ科)	5月	++	+++
ニフトコヒゲナガアブラムシ ^d	タラノキ(ウコギ科)	5月	++	+
ネギアブラムシ ^d	ネギ(ユリ科)	5~7月	++	+
バイカウツギコブアブラムシ ^d	バイカウツギ(アジサイ科)	4~5月	+++	+
ハゼアブラムシ ^d	タラノキ(ウコギ科)	4月	+++	+
ハナウドチビクダアブラムシ ^d	アシタバ(セリ科)	4~5月	+++	+
バラミドリアブラムシ ^d	バラ(バラ科)	7月	++	++
ヒエノアブラムシ	ソルゴー(イネ科)	10月~11月	+++	+
フキアブラムシ	フキ(キク科)	5月	+	+
ホップイボアブラムシ ^{cd}	スモモ(バラ科)	5月	++	+
マキシハアブラムシ ^d	イヌマキ(マキ科)	5月	+++	++
マツヨイグサアブラムシ ^d	マツヨイグサ(アカバナ科)	5月	+	+
マメクロアブラムシ ^{cd}	アメリカイヌホオズキ(ナス科) ギシギシ(タデ科)	4~6月	++ ++	++ ++
ムギクビレアブラムシ ^c	トウモロコシ(イネ科)	8月	+++	++
ムギヒゲナガアブラムシ ^d	メヒシバ(イネ科)	5月	+	+
ムギミドリアブラムシ	メヒシバ(イネ科)	5月	+	+
ムギワラギクオマルアブラムシ ^{cd}	ウメ(バラ科)	4~5月	+++	+++
モモアカアブラムシ ^c	ナズナ(アブラナ科) ピーマン(ナス科) ブロッコリー(アブラナ科)	4月	++ +++ +++	++ +++ +++
モモコフキアブラムシ ^{cd}	モモ(バラ科)	5~6月	+++	++
ユキヤナギアブラムシ ^c	アシタバ(セリ科) アベリア(スイカズラ科) ウメ(バラ科) リンゴ属・ドメステイカ(バラ科) ユキヤナギ(バラ科)	4~6月, 10月	++ +++ + + +++	+ + + ++ ++
リンゴミドリアブラムシ ^d	カリン(バラ科)	5月	+++	+
リンゴワタムシ ^d	ヒメリンゴ(バラ科)	4~5月	++	+
ワタアブラムシ ^c	イチゴ(バラ科) フジツギ属の一種(フジツギ科) キツネアザミ(キク科) ジャガイモ(ナス科) フヨウ(アオイ科) サトイモ(サトイモ科)	4~9月	++ ++ + ++ +++ +++	+ + + ++ + +++
種不明(3種) ^d	トキワマンサク(マンサク科) タマアジサイ(アジサイ科) ノゲシ・オニノゲシ(キク科)	4~5月 11月 5月, 11月	++ + ++	+ + +++

a)発生量 +; 寄生頭数が概ね20頭未満, ++; 同20~100頭未満, +++; 100頭以上。

b)発生範囲 +; 一部で発生を確認, ++; 数カ所で発生を確認, +++; 広範囲で発生を確認。

c)PPVを媒介することが報告されている種。

d)今年度初確認の種。